

CEの未来を創る。すべての人の笑顔を創る。

みらい

2022年
冬季号

日本臨床工学技士連盟広報誌

topics

- ・ 臨床工学技士を支援する議員連盟に新会長が就任しました
- ・ 臨床工学技士を支援する議員連盟 第4回総会報告
- ・ スペシャル対談 肥田理事長 × 田村前厚生労働大臣
- ・ 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に対する臨床工学技士の対応
- ・ ワクチン接種に対する群馬県臨床工学技士会の対応
- ・ 「臨床工学技士法等の改正に伴う厚生労働大臣指定の研修」
…私に必要なのかしら??
- ・ 厚生労働大臣指定研修に参加して
- ・ 事務局だより

臨床工学技士を支援する議員連盟に新会長が就任しました

第4回臨床工学技士を支援する議員連盟総会



| | |
|-------|--------|
| 会長 | 加藤 勝信 |
| 会長代行 | 羽生田 俊 |
| 副会長 | 牧原 秀樹 |
| 副会長 | 三ッ林 裕巳 |
| 幹事長 | 橋本 岳 |
| 幹事長代行 | 福岡 資麿 |
| 幹事長代理 | 中西 健治 |
| 幹事 | 今枝 宗一郎 |
| 幹事 | 田畑 裕明 |
| 幹事 | 国光 あやの |
| 幹事 | 尾崎 正直 |
| 幹事 | 松本 尚 |
| 幹事 | 古川 俊治 |
| 幹事 | 大家 敏志 |
| 幹事 | こやり 隆史 |
| 相談役 | 富岡 勉 |
| 相談役 | 大隈 和英 |
| 相談役 | 安藤 高夫 |
| 事務局長 | 自見 はなこ |
| 事務局次長 | 鬼木 誠 |
| 特別顧問 | 野田 毅 |
| 顧問 | 麻生 太郎 |
| 顧問 | 尾辻 秀久 |
| 顧問 | 細田 博之 |
| 顧問 | 後藤 茂之 |
| 顧問 | 武見 敬三 |
| 顧問 | 丸川 珠代 |

会長は公務でご多忙のため事務局が会長に代わり一言ご挨拶させていただきます。
臨床工学技士法が施行され、30余年の歳月が流れました。医療と工学の両側面から幅広く臨床を手助けし、多くの医療現場で貢献を重ねてまいりました。このたび改正された「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」では、臨床工学技士に新たな業務が与えられました。我々が医師の働き

方改革の実現に貢献するための第1歩です。これまで以上に我々が臨床に近い現場で良質な医療の一端を担えるよう医療機器の専門家として活躍することが求められております。
日本臨床工学技士連盟は、政治活動を通じて国民の皆様と良い医療を提供することを目的として設立されました。他の医療職種に比べ比較的新しい国家資格ですので、思いを実現するには強い団結力が必要です。会員の

最後に、野田前会長におかれましては、2014年の連盟発足時より、当連盟の先頭に立ってご指導頂きましたこと熱意に敬意を表しますとともに、更なるご活躍を祈念申し上げます。
(日本臨床工学技士連盟事務局)



会長 加藤 勝信

このたび、臨床工学技士を支援する議員連盟は、野田毅会長から加藤勝信新会長にバトンが引き継がれました。また、総会におきまして、各役員が選任されたことをご報告いたします。

臨床工学技士を支援する議員連盟 第4回総会報告

令和3年12月15日、参議院議員会館で開催されました「臨床工学技士を支援する議員連盟第4回総会」に参加いたしました。当日は予算委員会の会期中でありながら、加藤新会長をはじめ多数の国会議員の先生が参加してくださいました。また、(社)日本集中治療医学会や(社)日本救急医学会からも理事の方がご出席下さり、NPO法人日本ECMOneNetからは運営統括の小倉医師がWEB参加して下さいました。

まず初めに、野田毅特別顧問(前会長)よりご挨拶があり、当日の議事が始まり臨床工学技士を支援する議員連盟の役員(案)と規定改定(案)がそれぞれ了承され、新会長となられた加藤会長よりご挨拶がありました。その後、(公社)日本臨床工学技士会より本間理事長、日本臨床工学技士連盟より肥田理事長の挨拶に続き、同連盟の小林副理事長が「臨床工学技士の待遇改善に関する要望書」として、以下三点に関する資料を基に説明されました。

① 他の医療技術職と同等な評価を施した診療報酬改定をお願いしたい。

② 医療職の賃金引上げによる恒久的な収入増は、看護職員などに限らず臨床工学技士が含まれることを明示していただきたい。

③ 手術室や人工透析室など、必要とされる医療現場に臨床工学技士の配置基準を設置していた

いただきたい。

司会をされていた自見謙連事務局長から、法改正後の告示研修に関するご質問があり、日臨工の青木専務理事より「申し込み者数・約4200名、受講修了者・1000名強、約1500名が基礎研修を既に終了し、今期4000名が目標であるが達成可能と予想される」との現状報告がなされました。

(社)日本救急医学会の織田

理事からは、「手術室や集中治療室での活躍だけでなく、救急医学会としても救命救急医療へのCEの充実をお願いしたい」との言葉、またNPO法人日本ECMOneNetの小野医師は、「タスクシフトシエアの観点からも、平時からCEの力を借りながら医師の業務負担の軽減や、永続的な集中治療室や救命救急室の運営に繋げて行ければと考える」とのお言葉がありました。

これら要望や意見に対し、厚生労働省より医政局長、医政局医事課長、医政局総務課長、保険局医療課保健医療企画調査室長がそれぞれ現状や状況をお答えに成られ、その後、議員連盟側より三ツ林議員、中西議員、古川議員がそれぞれCEへの診療報酬付与や待遇改善、チーム医療や更なるタスクシフトへの期待感などを述べられ、これ等へのお答えを行政側からいただいた

きました。最後に、閉会の挨拶を加藤新会長よりいただき閉会となりました。この度の総会ではかなりCEの認知度も上がり、更にコロナ禍での努力も認められ、今後のCEに対しての期待感や待遇改善への道筋が見えてきた総会であったと感じました。

(監事 高山 亨)

臨床工学技士を支援する議員連盟
会長 加藤勝信様

公益社団法人日本臨床工学技士会
理事長 本間 崇
日本臨床工学技士連盟
理事長 肥田 泰幸
(公印省略)

臨床工学技士の待遇改善に関する要望書

臨床工学技士法に改正を含む「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」の成立では、多大なるご尽力を賜り、心より感謝しております。

政府からお示し頂いた、現場で働く看護師や介護士などの収入引き上げのため2021年度補正予算案に大きく期待しております。人工呼吸やECMOなどの操作、人工透析施設等でのCOVID-19患者への対応を鑑み、我々臨床工学技士も同じ医療職種として同等のご配慮をお願いいたします。

つきましては、医療の質と安全性の向上と、臨床工学技士の待遇改善を実現するため、以下の事項を要望いたします。

記

1. 他の医療技術職と同等な評価を施した診療報酬改定をお願いしたい(資料1)
2. 医療職種の賃金引き上げによる恒久的な収入増は、看護職員などに限らず臨床工学技士が含まれることを明示していただきたい(資料2)
3. 手術室や人工透析室など、必要とされる医療現場に臨床工学技士の配置基準を設置していただきたい(資料3)

スペシャル対談 肥田理事長 × 田村前厚生労働大臣



連盟理事長

肥田 泰幸

×

前厚生労働大臣

田村 憲久

肥田 このたびは衆議院選挙、当選おめでとございます。最近、ユーチューブで「田村のりひさチャンネル」を始められたと聞きましたか…

田村 大臣時代は、個人的発言は出来なかったものですが、今になって始めた訳です。まあ、当時は忙しくてそのような時間もとれませんでしたけど…大臣時代は、なんせ国会と厚生労働省と宿舍の往復という日々でした。東京を離れたのは、厚労省が主催の原爆の式典くらいだったのではなかったでしょうか？

肥田 ユーチューブでは、納豆ともやしが好き物であるとか拝見しましたが

田村 そうです。帰りにスーパーでもやしを買ってきて、豚もやしを作ったりしています。らっきょうも大好きですね。他には納豆に酢をかける酢納豆がお気に入りです。

コロナの感染者数が諸外国より少なかった理由

肥田 身近に感じられる人柄が伺えましたところで、コロナ禍での苦労話をお聞きしたいのですが

田村 厚労省と言いますのは、厚生から労働までと仕事の範囲が大変広いんです。ですから、皆さんからお受けする質問は1日に100件程度あり、厚生労働委員会では朝から晩まで審議している訳です。私の自慢ではないですが、1年で国会の答弁が3991回と富士山を上回る成果を上げさせていただきました。このような中、コロナが発生して、さらに忙しく様々な問題が浮上りました。

本来、厚労省というのは、国民の皆様の暮らしが良くなるようにしていかねければなりません。コロナでは、皆さんにご負担ばかりをおかけしました。これは、皆さんの命を守るためには致し方のないことだったのですが、窮屈な生活をお願いするばかりで申し訳なく思っています。しかし、皆さんに協力していただいたおかげで諸外国より感染者を出さずに済んでいます。

また、オリンピックの時期にデルタ株の蔓延が重なり、ご批判も頂戴しましたが、アスリートの方のこれまでの努力に報いるためにはやるしかありません。

肥田 ワクチン接種の担い手として我々臨床工学技士にもお声がけいただきましたが…

田村 管総理が1日100万回とおっしゃられたものですが、我々としても河野大臣と供に接種の体制作りに奔走したわけです。色々とご批判も受けましたが、8月の平均は1日160万回に達しているわけです。その結果が今(11月)の人数に表れているのだと思っています。これはワクチンの効果であって、世界で最も減っている国なんです。ひとえに、お願いを聞き入れてくれ我慢していただいた国民の皆さんと医療従事者の皆さんのおかげであると思っています。あと、日本人がマスク好きな理由は、昔のヒーローがしていたからなんです。日本人は、目で感情を読み取るためマスクをしても大丈夫ですが、欧米人はそうはいかない。欧米人は口で感情を読み取りハグで感情を表す文化ですので感染者がなかなか減ってこない。日本人の習慣も感染者数の減少に一役買っていると感じています。

タスクシフトは、医師の労働時間短縮の切り札となり得るのか

肥田 働き方改革の本丸である厚労省が一番ブラックという噂があります

田村 まず、時間外労働が多すぎる。そして、若い人の離職率が高い。過労死なんてもってのほか



肥田 タスクシフトの項目にも

田村 まだまだその段階では無いかと思いますが、臨床工学技士というのは、工学というのが入っている。工学というのは医師の苦手な部分で、これが今後いろんな所で繋がってくる。デジタル化やICTなど臨床工学技士の担う役割は、10年後には私が想像しているよりも大きくなるのでは…と期待しています。

肥田 更なるステップアップはあるのでしょうか？

更なるタスクシフトの可能性

田村 更なるステップアップはあ

で、人として普通の生活が出来ないようにしていかねければならぬと考えています。これは社会全体で考えていくべき課題であると考えています。

肥田 医師の働き方改革に伴い、臨床工学技士も34年ぶりに法改正されましたが、その辺の経緯について教えていただけますか？

医師の場合は、救急や地域医療を守ることが必要ですので、なかなか難しいところですが、上限を年に960時間としました。じゃあこの穴埋めをどうするのか？ということですが、日本の医師はご自身で何でもやっています。うんですね。しかし、医師でなくても他の医療職種でも出来ることがあるのでは？と考えました。

それなら、ちゃんと明確化してということになりました。明確化すれば安心して医師以外の職種でもやって頂ける。お願いできるのでは？と考えた次第です。



肥田 そうですね、我々もどのような役割が可能なのか？という根拠を会として纏めて示して行かなければなりませんね。

本日は貴重な時間を頂きまして誠にありがとうございます。今後ともご指導いただくとともに、我々を見守って頂ければと思います。

上がつて手術室で臨床工学技士を活用して頂いて、それに手当を付けて頂きたいと考えておりますが…

田村 コロナ対応では、人工呼吸器やECMOにおいて、チーム医療の中で皆さんにお力添え頂いていることに対してこの場を借りてお礼申し上げます。手術室業務などは、臨床工学技士が病院内でどのような役割を担えるか？会として、患者さんの為にやれることをお示し頂いて頂ければ検討できるかと思えます。

対談の実現に向けて

2021年11月21日、三重県出身の前厚生労働大臣であり臨床工学技士を支援する議員連盟の顧問として活躍中の田村憲久前厚生労働大臣と肥田泰幸理事長のスペシャル対談が実現いたしました。

「肥田さん、自民党の田村です。今回の総裁選で力を貸してくれませんか？」

前厚生労働大臣から直接こんな電話がかかってくるのは全国45,000名の臨床工学技士のうち、肥田理事長ただ一人。2013年に日本臨床工学連盟が創設されて以降、砂を噛み、そして、自ら煮え湯を飲みながらも「将来の臨床工学技士のため」と強い志して進んで来られたご努力の賜物だと改めて感じた次第です。

(連盟三重県担当 柴田 守)

連盟理事長

肥田 泰幸



前厚生労働大臣

田村 憲久

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に対する臨床工学技士の対応

JACE新型コロナウイルスワクチン担当常務理事 肥田 泰幸

「ワクチン接種の担い手が足りない」「マスクが煽るように報道する日々に、心中穏やかでなかった会員も少なくないことであろう。少しでも多く病める人を救いたい」という思いは、医療を志す人間の根幹であり、その志が無ければ医療従事者の資格はない。ただ、どうやって貢献するのか？医療従事者の中であつても認知度の臨床工学技士は、ECMOでは報道されてもワクチン接種の担い手としてその名称が表出することはなかった。

2021年5月末に厚生労働省がまとめた「新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を推進するための各医療関係職種専門性を踏まえた対応のあり方等について」において、我々から接種が可能であるとのPR活動の成果もあつて、土俵で臨床工学技士の名称が掲載されたことは実に喜ばしい。結果的に実際のワクチン接種とまでは至らなかったものの、他の医療職種と同等の評価を得るにあたり一定のアピールになったと思われる。一方で全国の都道府県臨床工学技士会にとっては、極めて突拍子もない話であつて、準備の整っていない状態で戦いを挑むようなものであつたが、本間理事長の英断にクレームなく一堂に協力が得られたことは、日臨工と都道府県臨床工学技士の、常日頃から形成された信頼関係の絆が生んだ結果だと信じる。

さて、本邦では医療含めた社会保障における国と地域の役割分担と連携が形成されており、ワクチン接種についても国から配分された地方自治体が管轄を担う事になるため、地方自治体と都道府県臨床工学技士会との連携が重要となり、知名度の低い臨床工学技士にとっては基本的には上から降ってくるものではなく、自ら志願しない限り社会貢献は成立しなかったであろう。日臨工より提示されたワクチン接種における協力のスキームは、ワクチン接種対応へ実際の行動を起こす上での一助となったと思われる。

その結果、各都道府県で数多くのワクチン接種が実施された。特筆すべきは群馬県で、モデルナ製ワクチンのシリンジへの充填業務では、延べ712名2318時間を従事した。そして、山本群馬県知事より感謝状を授与されたことは我々の貢献が社会に認められたことと嬉しく思った。

オミクロン株の国内初確認という報道が流れる11月末現在、まだまだ予断を許さない状況下ではあるが、医療従事者の一員として、またワクチン接種はその関連業務に充分に関わる實力を持つ職種として、さらに医療を志した信念を誇りを胸に、臨床工学技士として活動の幅が広がることを切に願うものである。

ワクチン接種に対する

群馬県臨床工学技士会の対応

厚生労働省による「新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を推進するための各医療関係職種の専門性を踏まえた対応の在り方等に関する検討会」が開催され、ワクチン接種における臨床工学技士の役割として「ワクチンの調製・シリンジへの充填作業とワクチン接種後の経過観察」の役割が6月7日に日臨工から示された。そこで県臨床工学技士会にて検討に入り、9日に災害対策で知り合った県の担当者へワクチン関連の担当者を教えて欲しいとメールで相談した結果、ワクチン担当の方からは非面会したいと返信があった。11日に担当者との面会し、15日に県庁から「ワクチン充填業務をお願いしたい」と電話で支援要請あつたため、当会として業務支援をするということが理事ML上で決定した。

平行して、県内の各施設へFAXを使用して業務支援に協力できるか意向確認を実施した。県からの依頼文が必要な施設が多いため、県へ要請したが各施設宛には出せないと回答があつたので、技士会宛に依頼文をいただき、その文書に会長名の依頼文を添えて派遣者に送ることとした。320名の会員のうち、94名が協力できるとの回答があつたため、具体的な派遣スケジュールの調整に入った。「調整さん」を利用し派遣リストを完成させ、毎週月曜から日曜までのスケジュール表を前の週末の木曜日まで県に運営課へ送付することとなった。7月5日から9月30日までワクチン充填業務を実施した。

約3カ月にわたりワクチン業務支援を実施できた。問題となるような事故も無く社会貢献が出来て、何よりもホッとしているというのが正直な感想です。県から業務支援を行った、医師会、看護協会、薬剤師会、臨床検査技師会、当会などに対して、意見交換会と感謝状の贈呈式が実施されました。

支援実績

業務：モデルナ製ワクチンのシリンジへの充填業務
期間：令和3年7月5日(月)～9月30日(木)の88日間
人数：2名～4名/コマ
午前8時～11時半、午後12時半～16時、
午後16時半～19時半
延べ人数712名(83名のCE)、
総業務時間2318時間

なぜ請け負うことができたのかを振り返ってみると、大規模接種センターの開設準備とタイミングがマッチしたこと、透析災害対策、透析患者におけるHIV対策協議会、医工連携など、これまでの県との共同活動が実を結んだのではないかと考えられた。また、県



（群馬県臨床工学技士会 副会長） 山根雅樹

「臨床工学技士法等の改正に伴う厚生労働大臣指定の研修」

…私に必要なのかしら??

2021年5月28日、令和3年法律49号「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が公布され、診療放射線技師、臨床検査技師および臨床工学技士の法令改正が謳われました。そして、同年10月には改正臨床工学技士法が施行され、臨床工学技士に新たな業務が与えられました。

しかし、我々 既免許取得者は即座に新業務を実施することはできません。我々が養成課程で学んだカリキュラムには新たな業務を実施するための知識・技術が含まれていないためです。そこで、救済措置として厚生労働省が指定する研修を受講するものと定められています。数年後には新カリキュラムが適応される予定であり、2026年の国家試験の合格者については免許取得直後から新業務を含めて実施することが可能となります。

また、日本臨床工学技士会では、2021年春以降、機会を捉えて新たな業務と研修受講について説明させていただいており、ですが、「研修を受講せず、新たな業務を実施することはできませんか?」との質問を多くいただきました。回答は「NO」です。前述の医療法改正に「義務」として明記されており、法令に示された新たな業務を行うためには受講が必須となります。さて、この研修は

厚生労働省告示によって日本臨床工学技士会が主催するとされています。2021年夏より開始し、12月までに4319人が受講登録され、そのうち1025人が全ての研修を修了されており、これは本年度の修了者目標4000人の25%を占めています。

ここで、今回の臨床工学技士法等の改正の背景について振り返りたいと思います。ご承知のとおり働き方改革に関する様々な関係法令が順次施行されています。医師に対しては2024年4月から時間外労働の上限規制が適応される予定となっています。そして、医師の短時間を実現するための方策として掲げられたのが「医師の過大な業務を他の医療従事者等に委ねるタスクシフト/シェア」であり、その目的を達成するために3職種（法令改正に至りませんでした。言い変えるならば、個々の臨床工学技士による今回の厚生労働大臣指定の研修の受講は、国策として進められている医師の働き方改革の実現に貢献するための第1歩です。そして、各々の医療機関における医師の短時間を我々の手で推していくことが重要です。今、与えられた業務に誠実に取り組むことにより、臨床工学技士業務に発展に関連する新たな議論の場が準備されると確信しています。

青木 郁香

厚生労働大臣指定研修に参加して

令和3年法律 第49号「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が公布され、臨床工学技士法の一部改正等により臨床工学技士の業務範囲が拡充されました。既免許取得者による新たな業務の実施にあたっては、厚生労働大臣の指定による研修により知識・技能を修得することが求められています。



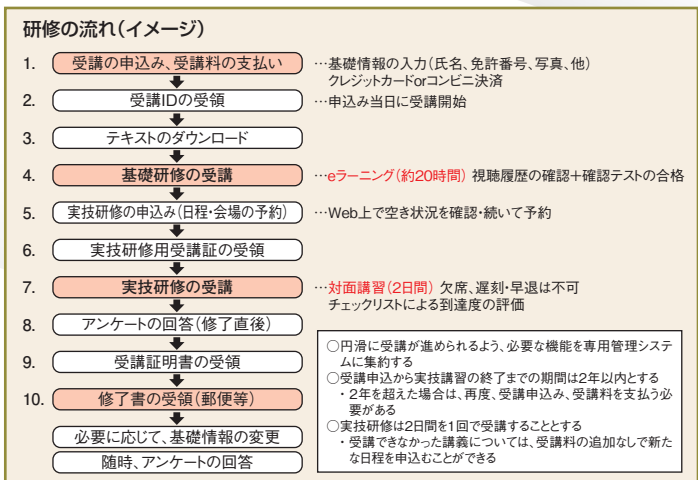
臨床工学技士の業務範囲追加に伴う 厚生労働大臣指定による研修

今回、告示研修に参加してきましたので、今後を受講される皆様に向けて参加報告をさせていただきます。まずは、専用サイトからアカウント登録です。この登録には、約1週間かかります。その後、eラーニングでのビデオ学習が20時間です。1コマあたり20分〜50分ですので空いた時間を有効的に活用して視聴することが出来ます。注意点として、完全にビデオが終了するまで視聴する必要があります。あと、ビデオが終了しても「視聴を終了するボタン」はしばらくの猶予がありますので、ご安心ください。

さて、次に実技研修です。私は東京開催であったため、1日目はお昼から19時までみっちり研修がありました。いずれの研修も全く業務に従事したことがない人でも、終了後は「何とかなりそうだ!」と手応えを感じる内容だと思います。特に、内視鏡手術のス



コープアシスタント(海外ではこう呼ぶ)業務は、大変興味深く取り込めるものと感じました。また、研修に使用される機材を見ますとも納得できました。研修をすべて修了すると、バッジをいただけます。このバッジを胸に付け仕事をしていると、新たな臨床工学技士法に則った臨床工学技士として働けることを誇りに感じます。(理事 奥田 晃久)



事務局だより

臨床工学生の学生団体TUCESの今とこれから

TUCES(タクス)は2020年3月に結成された、臨床工学技士を目指す学生のための学生団体です。「学校以外の学びの充実」と「学生同士のつながりを強めること」を目的に、オンラインでの学習会やイベントなど様々な活動に取り組んでおります。

TUCESではこれまで、医学生の学生団体や医療職関連の団体とのコラボイベントを開催し、学生ながら多職種連携について考える機会を設けてきました。過去に類を見ないような新しい「多職種連携イベント」に挑戦することで、メンバーのモチベーションアップにもつながっています。特にイベントでは、団体の枠を超え、様々な職種を目指す医療学生との交流が生まれており、未来の同僚との出会いにも繋がっていると実感しています。

また、TUCESでは設立当初から学習支援に重点を置いており、臨床工学技士を目指す学生にとっては馴染みの深い第二種ME技術実力検定のみならず、心電図検定・一次救命処置講習等の資格

試験対策や学校生活における日常の学習まで様々なオンライン学習のコンテンツを用意しています。これらのコンテンツの中にはモジュールステップを利用した段位戦形式のものもあり、楽しみながら学習できるよう工夫されています。

そして、活動を普及啓発するため、第32回日本臨床工学技士会や医学教育学会で発表する予定です。臨床工学技士のコミュニティは大小様々なものがありますが、TUCESは学生団体としての強みを活かしながら、活動の中で得られた教育的知見などを技士の皆様に共有し、学生のみならず技士の皆様にも愛される団体を目指して尽力してまいります。また、臨床工学技士という職種を、幅広い医療職の学生に在校中から知ってもらい、臨床工学技士という職種をより身近に感じてもらえるよう、今後とも多職種を交えたイベントを開催してまいります。

TUCESには皆様の未来の後輩がたくさんいます。まずは団体を知っていただき、後輩たちの行く道を暖かく応援していただけたら、幸いです。(TUCES 矢吹真菜、杉原葵、伊藤由、石飛航太)

役員紹介

中部ブロック理事 五条 敏和

静岡県は日本の縮図ともいえる地域なので、様々な商品のテスト販売に選ばれています。この地区で爆発的な売り上げがあれば全国に派生するとも言われています。連盟活動も然り、静岡県から盛り上げて中部ブロックから全国へと繋げていく事が目標です。しかしながら今現在、なかなかウェブを起こすまで至っていません。私の努力不足であり今後は一層連盟活動に尽力する所存です。



北海道・東北ブロック理事 浦波 智

連盟の活動に参加する機会を頂きながら、肥田理事長を中心に錚々たる方々がご尽力されているのを拝見し、微力ながらも役立てていただくと考えております。今まで漠然と臨床工学技士の将来像に不安を感じておりましたが、今は連盟の活動を通じてその不安は確信となりつつあります。若い時は目の前の事ばかりでCEとしての将来像を想像することは叶いませんでしたが、幅広く今の若い方々にも連盟の重要性を感じていただけるように連盟の活動を支えていけたらと思います。



会員動向



会員動向はQRコードにアクセス

| | 入会者数 | 退会者数 | 実質会員数 | 登録会員数 | 会費未納者数 |
|------|------|------|-------|-------|--------|
| 2013 | 259 | 2 | 180 | 223 | 43 |
| 2014 | 326 | 22 | 380 | 468 | 88 |
| 2015 | 442 | 21 | 520 | 770 | 250 |
| 2016 | 175 | 54 | 615 | 899 | 284 |
| 2017 | 292 | 31 | 927 | 1158 | 231 |
| 2018 | 350 | 29 | 1051 | 1476 | 425 |
| 2019 | 350 | 42 | 1496 | 1803 | 307 |
| 2020 | 145 | 40 | 1563 | 1933 | 370 |
| 2021 | 200 | 34 | 1745 | 2119 | 374 |

CEあやのオススメレシピ

あけましておめでとうございます。新年から腸活始めましょ〜。昨年ご紹介した醤油麹、作ってみた方はいらっしゃいますか？米麹でビタミン増し増し、うまみ増し増しなのですが…米の糖分があるため焦げやすい。そこでオススメなのが、蓋つきの鍋やフライパンで作る蒸炒めです。定番のキンピラゴボウで作り方をご紹介します。 杉村 綾



材料 ・ゴボウ 60g
・人参 30g
・胡麻油 大匙1



作り方

- ①ゴボウと人参は千切りにする。このときゴボウと人参の太さは同じくらいに。
醤油麹初心者さんは細目のほうが火の通りが早いので失敗しにくいです。
- ②鍋またはフライパンに胡麻油を熱し、ゴボウを入れ軽く炒める。
続いて人参を入れざっと混ぜ合わせる。
- ③一度火を止め、Aの酒と水を入れすぐに蓋をしめる。
- ④火を再びつけたら弱火で約3分加熱、途中1回だけ蓋を開けざっと混ぜる。
(何回も蓋を開けると水分だけが蒸発し火が通りません。)
- ⑤3分たったら火を止め、Bの醤油麹と味醂を加え再び弱火で1分ほど炒め合わせる。

Point 基本調理中は弱火で。焦げそうな時は火を止める。蓋は何回も開けない。です。どうしても焦げそうで不安な方はAの量を増やし、水分が残った状態でBを入れ弱火で調整を。

⑥根菜類は大丈夫ですが、じゃがいもやカボチャなどデンプン質の野菜は麹の酵素で分解されドロドロになることがあるのでご注意ください。もし、やっちゃったらポターージュに(笑)



日本臨床工学技士連盟

〒113-0034
東京都文京区湯島1丁目3-4 KTお茶の水聖橋ビル5F(日本臨床工学技士会)
TEL:03-5805-2563 FAX:03-5805-2597
E-mail:info@ce-renmei.gr.jp

